

中高部サンノゼ校 令和8年度高等部入学試験要項

1. 入試規定

1・1 募集定員

中高部サンノゼ校高等部 1年 50名程度

1・2 出願資格—以下の(1)～(4)の条件を満たすこと

- (1) 年度末に、本補習校か日本の中学校もしくは、本補習校と同等の中学を卒業する見込みの生徒。
- (2) 日本の中学校か本補習校もしくは、本補習校と同等の中学を卒業した生徒。(学齢差2歳未満のこと)
- (3) 中学3年卒業程度の学力を有する生徒(学齢差2歳未満のこと)
- (4) 年間授業時数の2/3の出席が確保できる生徒。

1・3 出願手続

- ・入学志願者は、入学志願書を在学する中高部主幹宛てに提出する。提出方法はグーグルフォームでの提出とする(下記URLから)。

中高部サンノゼ校高等部入学志願書リンク：<https://forms.gle/Einwbv7DfNWh3YMG6>

- ・本補習校以外の学校からの受験を希望する場合は、下記事務局までご連絡ください。

サンフランシスコ日本語補習校事務局：office@sfjs.org
(415)989-4535

※入学願書受理連絡、合否判定などのやり取りは、全部入学願書に記載のメールアドレスで行います。

入試に関してのメールアドレスは、必ず統一したものにしてください。

1・4 出願及び検査等の期日

(1) 出願書類の提出期間

令和6年12月7日(日)から令和7年1月6日(火)までとする。

出願書類が受理されたら、メールで通知いたします。通知が3日以内に届かない場合は、SJtoiwase@sfjs.orgまでお問い合わせください。

(2) 試験日

令和8年1月24日(土)

全入学志願者は同日に受験とする。

※面接試験は1日では終わらない場合があるので、志願書受領後に面接予定を個々に連絡する。

2 選考の方法

推薦入試は行わず、以下(1)のi)～iv)に基づき総合的に判断し選考する。

(1) 試験の分類

i) 教科試験

試験教科は国語1教科とし、試験範囲は中学1年から中学3年の後期12月までの内容とする。ただし漢字は、中3教科書のP180～P181「漢字のまとめ」の中から出題する。また試験時間は50分とする。

ii) 作文試験

作文の字数は600字（原稿用紙1枚半）以上とし、試験時間は50分とする。

iii) 面接試験

個人面接を行い、入学への意欲・目的意識・日本語の理解力などを見る。（10分程度）

iv) 報告書

中学における学習状況、出席状況や生活態度など。

（2）試験の時程等

試験科目	実施時間	会場	備考
国語	9:00～9:50	中高部 SJ 校舎	1校時
作文	10:00～10:50	中高部 SJ 校舎	2校時
面接	一人10分以内	中高部 SJ 校舎	※面接予定は別途連絡

- ・試験会場は中高部サンノゼ校校舎とする。
- ・受験者は、試験当日、8時35分までに各試験場で待機する。
- ・受験者は次のものを携行して試験会場に入るものとする。
 - 1) 黒鉛筆（2番またはHB）。シャープペンを使用する場合は、芯がなくなてもこちらには準備はないので、注意すること。
 - 2) 消しゴム
- ※計算機能や辞書機能を持つ時計、電卓、電子辞書は携行禁止。また携帯電話、アップルウォッチなどの通信機器を持参している場合は、試験会場においては電源を切りバッグの中にしまうものとする。指示に従えない場合は不正を疑わせる行為とみなされ、その場で受験資格を失う。
- ・受験者は、試験が終了するまで受験会場を離れてはならない。途中退室した場合、その試験時間中は試験会場には戻れない。

3 入学選考基準・結果の通知

- (1) 上記2(1)のi)～iv)の結果に基づき総合的に判断する。
- (2) 入学願書の「志望理由」は、合否判定の資料とする。
- (3) 入試結果が合格基準に達しているが合格定員数に入らなかった場合ウェイティングとし、5月末までに空きが出た場合、順に編入を許可する。
- (4) 二次募集は行わない。
- (5) 選考結果については令和8年3月16日（月）に受験生個別に連絡する。

4 試験結果通知後の手続

・高等部誓約書

合格者又はその保護者は、期日までに高等部誓約書をグーグルフォームにより、志願先中高部主幹に提出する。この手続を終了した者が入学予定者となる。期日までに提出がない場合は、入学が取り消されることがある。

高等部誓約書 URL : <https://forms.gle/hu7kq4uCMWBvZ2Nx8>

・入学辞退書

保護者の転勤等やむを得ない事情により入学を辞退しようとする場合、保護者は入学辞退届をグーグルフォームにより速やかに志願先中高部主幹に提出しなければならない。

5 途中入学（編入）について

- (1) 本補習校中学部卒業生の年度途中での入学希望者がある場合は、5月末時点での空きがある場合に限り、6月第一土曜日に編入試験を受けることができる（申し込み受付期間は、試験日一週間前までを基準とする）。同年に受験し不合格になった場合は含まれない。
 - (2) 本補習校以外の生徒で、本補習校高等部入試規定の出願資格（※）を満たした上で、入学を希望する場合は、5月末時点での空きがあれば隨時試験日を設定し行う（申込受付期間は、試験日一週間前までを基準とする）。この際日本からあるいは他の補習校などから直接編入を希望する場合、編入時以前の授業日を出席扱いとする。
 - (3) 特別な事情がある編入については、その事情を考慮し、校長及び、高等部部長が判断する。
 - (4) 途中入学（編入）試験の内容：国語の筆記試験と作文及び面接試験を行う。試験範囲は別途通知する
 - (5) 高2への編入については、高1を修了し、学力を満たしているものとする。上記試験により判断するが、規定を満たしていない場合は高1への編入とすることもある
- ※上記1の1・2 (1) (2) (3) (4) を参照のこと。

6 その他

(1) 高等部教育課程

	国語科	数学科	社会科
	年間時数…75時間（標準）	年間時数…75時間（標準）	年間時数…39時間（標準）
高等部1年	標準 現代の国語 標準 言語文化	新編 数学 I	歴史総合（令和8年度）
高等部2年	標準 文学国語 標準 論理国語	新編 数学 II	歴史総合（令和8年度）

国語科については、各学年教科書が2冊となる。

社会科については、1年・2年を同一教科とし、隔年で公共と歴史総合を履修する。

(2) 高等部進級および卒業認定条件

高等部での進級および卒業の認定は、下記の認定条件に基づき、進級・卒業認定会議を経て高等部部長が判定する。

＜進級・卒業認定条件＞

- 1) 各教科で総授業時数の2/3以上の出席があること。
- 2) 後期期末試験を全教科受験していること。
- 3) 評定が全教科2以上である。

※ 進級・卒業認定の際、諸処の理由から必要と判断された場合、進級・卒業に関して条件が提示される場合がある。

※ 年度途中での転編入生については、前在籍校の出席日数を考慮する。ただし、やむを得ない事情がある生徒については、学校長の助言に基づき、高等部部長が別途判断することができる。

※ 出席が各教科総授業時数の2/3に満たない場合留年となることがある。

高等部入試に関わるお問い合わせは、下記宛てに全てメールで、お願ひいたします。なお、この問い合わせメールアドレスは、2025年12月7日から2026年4月1日まで有効です。

SJtoiawase@sfjs.org

- ・入学願書受理連絡、選考判定などのやり取りは、全て入学願書に記載のメールアドレスで行いますので、メールアドレスの統一にご協力ください。